



藤原岳の雪も少なくなり始め、春の訪れを感じる季節となりました。

今年度の5月からスタートした「いな福」ですが、今年度は今回で最終回となります。今号では、1年間の福祉の授業をふりかえります。

今年度の福祉の授業では、学びを「何かに気づき、自分が変わること（気づきと変容）」とし、対話を重視してきました。生徒たちは、授業の中で出される課題に対し、自分の考えをまとめ、他者と交流する中で、物事が持つ多様さ・複雑さに、自ら気づいていました。そして、それらを踏まえ、広い視野と深い思考を持って、自らの考えをよりよいものへとつくりあげていく姿をたくさん見せてくれました。また、外部講師の方を始め、市役所の方々その他様々な方にご尽力いただき、実践的な学びを得ることもできました。

いなべ総合学園高等学校の福祉の授業を多くの方に知ってもらうために始めた「いな福」は、実際に色々な方に見てもらっているようで、「生徒さん、がんばっていますね！」と声をかけられることが数回ありました。また、「いな福」に登場している生徒も「いな福、見たよ！」と友人から声をかけられたこともあったようです。

このように、色々な方に支えられ、豊かな学び多い一年を過ごすことができました。今年度、いなべ総合学園高等学校の福祉にご協力いただいた皆様に、心からお礼申し上げます。そして、来年度も引き続き、温かいご支援のほどをよろしく願いいたします。

一年間ありがとうございました！



来年度もよろしくお願いたします！

い  
福

平成31年3月号